

急性アルコール中毒

急性アルコール中毒は、短時間にアルコールを飲むことにより起こされます。重大な状況を引き起こします。昏睡、死に至ることもあります。急性アルコール中毒は下記の6段階で進行します。

1. アルコールを少量飲むと幸福感を意識します。それから酔いの高揚した段階に入ります。話がはずみ、打ち解けます。血中アルコール含有量は0.03～0.12パーセントになります(ビールでは中ビン1本)。
2. 次の段階は1時間でビール中ビン3本程度です。判断と記憶、視力がはっきりしなくなり、平衡感覚が低下するなどが見られます。他の人からは目に見えて「酔っている」様に見えるようになります。血中アルコール含有量は0.09～0.25パーセントになります。
3. その次には混乱が起こります。
4. さらに進むと応答しない状態になります。人は立ったり歩いたりができなくなります。このステージは大変危険です。嘔吐すると窒息するとか、転倒して重症を追う場合もあります。血中アルコール含有量は0.25～0.4パーセントになります(ビール中ビン6本以上)。
5. 進行すると昏睡状態になります。体温も下がります。血中アルコール含有量は0.35～0.45パーセントになります。救急治療が必要です。
6. 0.45%以上のアルコール血中濃度では死亡の可能性がありますが。大量に飲んだ場合のみならず短時間に飲んだ場合にも起こります。

アルコールで意識を失うなど深刻な状態の人を見たら他の人の支援を求めて助けましょう。

